

フィリピン人看護師がやって来る

過酷な労働条件で人手不足が深刻な看護師や介護士に、フィリピン人を一定の条件で受け入れることが決まった。フィリピン、日本両国の期待と不安は――。【マニラ大澤文護、玉木達也、東海林智】

知りた

「私たちがやってきたことは、正しかった」
 フィリピン南部ダバオ市にある「ミンダナオ国際大学」。二エト・ラトレ・ビト学長(56)は胸を張る。同大は02年、特定非営利活動法人(NPO)「日本フィリピンボランティア協会」の協力で創立。日本の外国人介護労働者受け入れを見越して福祉学部を設け、日本語学習も取り入れた。

「日本フィリピンボランティア協会」の協力で創立。日本の外国人介護労働者受け入れを見越して福祉学部を設け、日本語学習も取り入れた。一方、日本は昨年12月英語のできるフィリピン人看護師はすでに欧米で大勢が活躍している。福祉学部4年のマーチェ

受け入れを見越し育成 国内人材に影響の声も



日本で介護福祉士として働くことを夢見る、ミンダナオ国際大学福祉学部の学生たち＝9月、フィリピン・ダバオ市で大澤文護写す

年約131万4000人使われると、日本人を含まず、約4万2000人が不足する見込み。2010年でも約1万5000人の不足が見込まれる。両国の思惑が一致したかに見える協定だが、介護ヘルパーらで作る「ホームヘルパー全国連絡会」(東京都)の森永伊紀事務局長は「安価な労働力としてフィリピン人が

許可し、入国後には6

カ月の日本語研修も義務づける。

この条件に、不安や不

満をもらすフィリピンの

関係者は多い。95年から

ボランティアを続ける助

産師のルース・レスマー

さん(34)は「問題は言葉。

薬の説明書を正しく理解

できるか、電話で救急車

を呼んだり、病状を正確

に伝えられるか」と話す。

こうした不安を取り除

くため、日本の高齢者や

介護の必要な人をフィリ

ピンで受け入れ、現地ヘルパーが介護する試みも

6月から始まった。8

9日間で費用は20万〜25

万円ほど。参加者の一人

で15年前に脳梗塞で倒

れ、24時間介護が必要な

東洋大元教授の池田正敏

さん(65)は9月、再びダ

バオを訪れた。「フィリ

ピンの理学療法士は患者

の能力を最大限、引き出

そうする。通りいっぺん

の日本のリハビリとは大

違いだ」と話している。

近事片々

通常のトランプのカー

ドは意思を持たない。記

号として、偶然の確率を

示す。しかし、ジョーカー

1だけは、持ち手がそれ

をどう使うかで、確率で

はなく意思を示す。

◇

北朝鮮の核実験実施の

発表は、真偽はともかく

通常のカードではなくシ

ョーカーだった。北朝鮮

シア、韓国はその意思に

対する態度を表明しなけ

ればならなかった。

◇

各国とも日米に対する

思惑はある。通常のカー

ドであれば、確率に対す

る評価の相違という議論

ができる。しかし、ジョ

ーカーの場合は持ち手の

意思への賛否が問われ

る。国際的合意に反論は